

- 1 住みよいまちを力を合わせつくしましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう



▲使いやすさを優先し、デザインを大きく変更した向日市ホームページ。申請書の見本を付けたり、担当課へ直接メールを送付できるようになるなど内容も見直しました。利用者の立場に立ったホームページ作りを心掛けています。

向日市ホームページを11月15日にリニューアル(刷新)しました。新しいホームページでは、インターネットの双方向性を活用した「市長との会議室」など、市民参画の充実を図ったほか、高齢者や障害者だけでなく誰もが利用しやすいホームページとなるように配慮しています。

双方向性を活用し、市長との電子会議室を開設 ホームページを リニューアル(刷新)

まちづくりについて話し合いませんか

ホームページ「e-市長室」に「市長との会議室」を開設

市民の皆様とコラボレーション(協働)によるまちづくりを進めるため、市ホームページ上で市民の皆様と市長が議論する「市長との会議室」の試験運用を12月1日に開始します。

この会議室はインターネットの双方向性を活用して、市民をはじめとする参加者の皆様と市長がホームページ上で具体的なテーマについて議論をする場です。参加者の皆様と市長が、また参加者の皆様同士が議論を重ねたり意見交換をすることにより、市民ニーズを素早く把握すること、また建設的なご意見やご提言を市政に反映させることをめざしています。

なお、本格的な運用は平成16年4月を予定しています。

参加者を募集します

市では、この会議室に参加していただける方を募集します。

- 対象/向日市民だけでなくどなたでもご登録いただけます。
- 定員/(試験運用期間のため)100人
- 募集期間/11月15日(土)~24日(振休)
- 登録方法/会議室への参加には事前の登録をしていただく必要があります。登録される方は、必ず市ホームページ「e-市長室」「市長との会議室」にある「利用のきまり」を読んでからご登録ください。

Eメールで件名「電子会議室参加登録」として「住所(向日市外の方は郵便番号も)、氏名、Eメールアドレス、電話番号、ハンドルネーム(発言者として表示される名前)」を秘書広報課広報係にお送りください。後日、パスワードを郵送させていただきます。定員を超えた場合は、抽選の上ご連絡させていただきます(抽選にもれた方にはEメールで連絡させていただきます)。

※参加者の皆様がお互いを傷つけたり、無用なトラブルが起きることのないように、会議室では「利用のきまり」を定めています。参加者の皆様はこのきまりを守っていただきますようお願いいたします。

※閲覧だけの方は登録の必要はありません。ご自由にご覧ください。

ユニバーサル社会をめざして

誰もが利用しやすくなるようアクセシビリティに配慮

ユニバーサル社会の実現のため、向日市では、誰もが使いやすいホームページをめざしています。

インターネットが急速に普及し、年齢、職業、身体の状態を問わず、多くの方がインターネットを利用して情報収集するようになってきました。しかし、多くのホームページでは、制作者の意図が優先され、利用者の立場を無視した作りとなっているため、必要な情報を得ることができない方がおられると考えられます。

向日市では、こうしたホームページによる情報格差を作らないよう、アクセシビリティ(誰もがアクセスできるということ)に配慮しています。

例えば次のようなことに気を付けています

利用者の閲覧環境はさまざまであり、同じホームページでも見え方は千差万別です。OS(基本ソフト)、ブラウザ(閲覧ソフト)の違いや、障害に対する支援技術(音声読み上げソフトなど)について、配慮せずに作ると、必ず不便を強いられる利用者が生じてしまいます。

向日市では例えば次のようなことに気を付けています。

- 画像が無くても意味が通るように、画像には代替文字情報を付けることとしています。
- フレーム(画面を分割させる表示方法)は、古いブラウザが対応していなかったり、音声読み上げソフトを利用している人にとって使いにくいものとなるので原則使用しません。
- 色覚障害のある方でも見やすくなるよう、色のコントラスト(対比)を高めます。

向日市ホームページのアドレスは <http://www.city.muko.kyoto.jp/>

2003 向日市 5万人のふれあい まつり



「5万人のふれあい」をテーマに「2003向日市まつり」が、11月15日(土)・16日(日)の2日間、向日町競輪場で開催されます。

子どもたちに人気のキャラクターショー「爆竜戦隊アバレンジャー」をはじめ、大声コンテストや大ビンゴゲーム大会など多彩なステージや、遊びの広場、市民がつくる市民ふれあい広場など、盛りだくさんの内容で開催します。

日時 11月15日(土) 午前10時～午後4時
11月16日(日) 午前10時～午後3時
場所 向日町競輪場

※かぐや姫行列は本年度から実施しないこととなりました。

ステージ、遊びの広場、農業コーナー、商工コーナー、相談コーナー、市民ふれあい広場、健康コーナー

消費生活展、男女共同参画、市民憲章、観光協会、Doスポーツin向日、親子ふれあい遊び、緑化ポスター展、郵便、たけうま全国大会

[キャラクターショー]
「爆竜戦隊アバレンジャー」

16日(日) (2回上演)
①午後0時10分～
②午後1時45分～
※1回目の上演のみサイン会があります。



©2003テレビ朝日・東映AG・東映

お問い合わせ 健康都市推進室(内線280)

NEWS & TOPICS

人権擁護委員に 小田秀子氏、嶋田靖子氏、狭間恭治氏

向日市人権擁護委員に、再任として小田秀子氏、嶋田靖子氏、狭間恭治氏が、10月1日付で法務大臣から委嘱されました。

人権擁護委員は、市民の基本的な人権が侵害されないよう監視し、侵害があった場合にはその相談相手となり、適切な措置を講じることにより、救済を図ります。任期は3年です。

- 小田秀子(おだひでこ)氏
向日市上植野町円山7-1 ☎934-5121
- 嶋田靖子(しまだやすこ)氏
向日市上植野町南開1-12 ☎921-6296
- 狭間恭治(はざまきょうじ)氏
向日市寺戸町東野辺1-15 ☎922-6005

第9回タウンミーティング 「北部地域のまちづくり」

第9回目のタウンミーティングは、「北部地域のまちづくり」をテーマに、公募していただいた参加者と久嶋市長が語り合います。

- 日時/11月28日(金) 午後7時30分～9時
 - 場所/福社会館大会議室
 - テーマ/北部地域のまちづくり
- ※参加者の応募は終了していますが、傍聴はどなたでもできますので、ぜひお越しください。
☎健康都市推進室(内線280)

第2回向日市下水道事業再評価審査委員会

向日市下水道事業再評価審査委員会では、向日市公共下水道雨水事業が事業採択後10年を経過しましたので、下水道事業の効率性や効果性などについて再評価を行っています。

- なお、委員会は公開としています。
- 日時/11月18日(火) 午前10時～正午
 - 場所/図書館研修室
- ☎下水道課(内線802)

広域情報パンフレット「見聞録」を発行

本市を含む南部6市4町で構成する、京都南部都市広域行政圏推進協議会では、圏域内の魅力あふれる豊富な資源を再認識していただくため、広域情報パンフレット「見聞録」を発行しました。

圏域の自然や歴史、文化などについて理解を深めていただくとともに、人々の交流を広域的に推進するためのパンフレットです。パンフレットは健康都市推進室で配布しています。
☎健康都市推進室(内線280)

いつまでも元気に過ごせる方法を考えてみませんか 向日市ヘルスアップ(MHU)大作戦参加者募集

「健康診断の結果に異常のマークはついているけれど、何が問題なのか分からない」「健康になれる」「からだに効く」ということはやってみるけれど、なかなか自分のものになりにくい」「私はどうしたら健康になれるの」など悩んでいる今が、健康について見つめ直すチャンスです。

向日市ヘルスアップ大作戦(MHU)に参加して、いつまでも元気に過ごせる方法を考えてみませんか。

日程	内容
第1回 11月25日(火)	健診結果から私のからだをみてみよう
第2回 12月9日(火)	～健診結果とからだの関係～
第3回 12月24日(水)	医師から普段きけないことを聞いてみよう
第4回 1月13日(火)	食事について考えよう ①何をどう選んで
第5回 1月27日(火)	食べる? ②バランスのとれた食事とは?
第6回 2月10日(火)	運動について
第7回 2月24日(火)	教室のまとめ

- 時間/午後1時30分～3時30分(ただし、第5回のみ午前10時から)
- 場所/保健センター
- 対象/全日程参加できる向日市民30人(定員になり次第締切ります)

お問い合わせ 健康管理課健康増進係(内線338)

第29回市民文化展・向日市中学生美術展

創作発表の場を提供するとともに、多くの人に鑑賞してもらうために、毎年市民文化展を開催しています。今回は「中学生美術展」も同時開催します。

- 日時/11月14日(金)～16日(日) 午前10時～午後4時(16日(日)は午後3時まで)
 - 場所/中央公民館
- ☎中央公民館(市民文化展) ☎932-3166、学校教育課学校教育係(中学生美術展)(内線323・332)

宝くじは、広く社会に役立てられています。

視聴覚機器を整備

向日市は、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業として、宝くじ助成を受け、視聴覚機器を整備しました。



今後、まちづくりやコミュニティ活動などに活用していただくことにしています。

なんでもパフォーマンス



見て!!
聞いて!!
楽しんで!!

幼稚園児から高校生までのみなさんが、得意の芸を披露する「なんでもパフォーマンス」が今年も行われます。歌やダンス、ロックソーラン節など、日ごろの練習の成果を発表します。出演者の熱気あふれるパフォーマンスをお楽しみください。

11月30日(日)
午後1時30分～4時30分
(開場:午後1時)
市民会館ホール

お問い合わせ 向日市子ども情報センター協議会事務局(教育委員会社会教育課青少年係内)(内線350)

出演

- リトル*フラワーズ
- ラッキー★ドラゴン
- ロックソーランやろうど
- Life time
- 南と吉田
- ローラー5人組
- M・K・Y
- RADIX(ラディックス)
- スマイル3年1組
- MAO!!
- White 7(ホワイトセブン)
- 苗村美里
- ラーク
- 少林寺拳法

インフォメーション



市の催し・サービス情報

講座・スポーツの催し、サービスの案内など、市からのお知らせを中心に掲載しています。

- 向日市役所への電話でのお問い合わせは、☎931-1111(代表番号)にお掛けください。担当課におつなぎします。
- 向日市役所への(ファックスは☎922-6587、郵便物は〒617-8665 向日市役所)、Eメールはinfo@city.muko.kyoto.jp)にお送りください。
- ※ファックス、郵便物、Eメールには、市役所のどの課(担当課名)へものかをご記入ください。
- 参加費などの記載がないものは無料でご参加いただけます。
- ☎=お問い合わせ、HP=ホームページアドレス

EVENT INFORMATION

催し情報

講座・教室

金箔手工芸教室

来年の干支「申」の色紙を作り、佳き初春を迎えましょう。

- 日時/12月4日(木)午後1時30分～3時30分
- 場所/上植野公民館
- 対象/向日市在住の方30人
- 材料費/一人2,000円
- 講師/宍戸悦子さん(「アトリエ華」金箔美術手工芸研究会主宰)
- 持ち物/筆記用具、タオル
- 申込み/11月15日(土)から上植野公民館で受付。電話・FAXで申込み可能。(土曜日午後、日曜日、祝日は除く。)

☎上植野公民館 ☎921-0012

子どもふれあい講座「楽しい料理教室」

[献立]ピザ、野菜サラダ、ミルクティ

- 日時/12月13日(土)午前9時30分～午後1時30分
- 場所/中央公民館
- 対象/向日市在住の小学4年生以上30人
- 講師/向日市食生活改善推進員協議会の皆さん
- 持ち物/筆記用具、エプロン、三角巾
- 申込み/11月15日(土)から中央公民館に材料費(500円)を添えてお申込みください。土曜日の午後、月曜日、祝日は除きます。定員になり次第締切ります。

☎中央公民館 ☎932-3166

人権研修会

- 日時/12月10日(水)午前10時～11時30分
- 場所/中央公民館
- 内容/講演「新しい視点から同和問題を考える」石元清英さん(関西大学社会学部教授)
- 定員/50人
- 申込み/11月17日(月)から12月9日(火)までに教育委員会社会教育課社会教育係(内線325)にお申し込みください。
- ※手話通訳・要約筆記・保育ルームを設置します。11月17日(月)から28日(金)までにお申し込みください。保育ルームは満1歳から就学前の幼児で定員は10人です。

くらしに活かす介護教室

- 日時/12月5日(金)午後1時30分～4時
- 場所/福祉会館
- 内容/講演「生活の中のリハビリテーション・排

泄のお世話」、実技指導

- 講師/増田千賀代さん(日赤京都府支部事業推進課家庭看護係長)
- 対象/介護者、福祉関係者、介護に関心のある方30人
- ※動きやすい服装でご参加ください。
- 申込み/11月17日(月)から電話で社会福祉協議会地域福祉係☎932-1961へお申し込みください(土日祝日を除く午前8時30分～午後5時)。定員になり次第締切ります。

子育て支援講座

- 日時/12月10日(水)午前10時～正午
- 場所/福祉会館大会議室
- 内容/講演「子どもの病気について」
- 講師/伊藤陽里さん(京都第二赤十字病院、小児科医師)
- 対象/向日市在住の乳幼児を子育てしている方、子育て支援に関心のある方50人
- 共催/向日市社会福祉協議会、国際ソロプチミスト京都-西山
- 後援/向日市子育てセンター「すこやか」
- 申込み/11月17日(月)から社会福祉協議会地域福祉係(☎932-1961)へお申し込みください(土日祝日を除く午前8時30分～午後5時)。定員になり次第締切ります。
- 保育/1歳以上のお子さん対象、要予約、定員20人

いきいき健康教室～転ばぬ先の知恵～

中高年齢者を対象に、自分の身体や生活習慣などを振り返りながらいつまでも健康に過ごすための秘訣を探る講座です。

「運動の効用」や「転倒予防の大切さ」などの講話や、腰痛・肩こりをやわらげる体操などを行います。

- 日時・場所/11月27日(木)午後1時30分～向日コミセン
- 11月28日(金)午後1時30分～物集女コミセン
- 講師/理学療法士
- 申込み/向日コミセン☎932-1826、物集女コミセン☎921-1514にお申し込みください。

平成15年度乙訓地区父親を考えるフォーラム

- 日時/12月6日(土)午後1時～4時30分
- 場所/長岡京市立中央公民館
- 内容/講演「心がつなぐ家族・地域」とパネルディスカッションなど 講師:小田伸午さん(京都大学大学院助教授)
- 対象/父親、母親、これから親になる方、社会教育・学校教育関係者、子育てに関心のある方など
- 保育ルーム/生後6か月以上の乳幼児(11月26日(水)までにお申し込みください)
- 主催/京都府教育委員会
- ☎京都府乙訓教育局社会教育担当 ☎933-5130

図書

おはなしひろば

- 図書館ボランティア「きつぱらいぶらりー」による、楽しいおはなしの時間です。(親子で参加できます)
- 日時/11月22日(土)午前11時～
- 場所/図書館
- ☎図書館 ☎931-1181

小学生の体験活動

向日市ふれあい体験活動「ロールケーキ作り」

「食」をテーマにお菓子づくりを催します。家でも簡単にできるロールケーキ作りです。障害のある子

どもたちと交流しながら挑戦してみませんか。

- 日時/12月6日(土)午前9時30分～正午
- 場所/第4向陽小学校
- 対象/市内の小学生15人および養護学校児童・生徒15人(合計30人)
- 持ち物/エプロン、手ふきタオル、上靴
- 申込み/11月21日(金)午後5時までに教育委員会社会教育課(内線351)にお申し込みください。
- 主催/向日市教育委員会、向日が丘養護学校

SERVICE INFORMATION

サービス情報

健康

インフルエンザを予防しましょう

インフルエンザは急に高い熱(38度～40度程度)が出て、全身症状が現れ、特に高齢者が罹った場合には、肺炎などの合併症を引き起こす確率が高く、死に至ることもあります。これからのインフルエンザの流行シーズンに向けて、次のことに気をつけましょう。

- ①流行時には人混みに出かけることをできるだけ避けるようにし、外出時にはマスクを着用しましょう。
- ②帰宅時には手洗いとうがいをしましょう
- ③部屋は閉めっぱなしにしないで、十分に換気をしましょう(1時間に1回位の割合)
- ④日頃から栄養と睡眠を十分にとり規則正しい生活を送り、インフルエンザや風邪にかかりにくいからだづくりをしましょう。

12月31日まで高齢者などのインフルエンザ予防接種を実施しています。詳しくは健康管理課(内線333、338)にお問い合わせください。

コミュニケーションコーナー

市民の情報掲示板



市民の方から寄せられた「会員募集」「催し」などの情報を掲載しています。詳細については、各問い合わせ先にお訪ねください。

和紙ちぎり絵無料講習会

来年の干支(申)を色紙に貼ります。

- 日時/11月29日(土)午後1時～
- 場所/寺戸公民館
- 参加費/1,500円(材料費)
- 持ち物/鉛筆、のり、はさみ、目打ち、お手拭き
- 申込み/11月22日(土)までに伊藤さん(☎922-6834)または吉田さん(☎921-2396)へお申込みください。

絵本の読み聞かせ&エプロンシアター

- 日時/11月27日(木)午前10時30分～11時30分
- 場所/鶏冠井コミュニティセンター
- 対象/1歳～未就園児
- ☎読み聞かせサークル「3匹のこぶた」の藤原さん ☎934-6754

広報むこう

1月15日号の締切りは12月8日です

「広報むこう」の原稿締切日は、通常1か月前としていますが、1月15日号は年末年始を挟んでの編集となるため、通常より1週間早い12月8日(月)を原稿の締切日とさせていただきます。市民の皆様のご理解をお願いいたします。

☎秘書広報課広報係(内線240)

あなたは
喫煙派・禁煙派

考えよう!「からだ・くらし・タバコ」

健康 HEALTH

8 禁煙チャレンジ始めませんか

やめたいと思ってもなかなかやめられない「タバコ」。

やめたい一心でただやみくもに挑戦してもむずかしく、禁煙には効果的な方法やコツがあることがわかってきました。今回は「禁煙方法の実際」について紹介します。

(1) 必要なのは挑戦する気持ちです

タバコをやめるとタバコ代や時間が節約できます。もう遠慮したり、気兼ねする必要もありません。また、「ニコチンの呪縛」からも開放され、吸わなくても大丈夫な自分が取り戻せるのです。タバコなしで生活する快適なイメージをふくらませ、思いきって「チャレンジ宣言」をしましょう。

(2) きっぱり止めましょう

禁煙が難しいのは、「ニコチン」という薬物のためです。ニコチンは脳に働きかけて、ニコチンなしでは正常な脳細胞の働きができなくなる状態(ニコチン依存)にします。

徐々に減らす方法は、ニコチン切れの状態が続き、気を緩めると本数が戻ってしまいます。ニコチン代替療法などを活用してきっぱり止めるほうがずっと楽です。

最後の一服を吸い終えたら、タバコやライター、灰皿などを捨てましょう。

(3) 「日常生活の工夫」で乗り切りましょう

手持ち無沙汰な時、話の間をとる時、火をつ

けると何となく落ち着く…これが習慣(クセ)になっているのです。いろいろな方法で新しい生活パターンを工夫しましょう。

- ①冷たい水、熱いお茶を少しずつ飲む。
- ②深呼吸をする。…腕や肩のストレッチ運動と組み合わせると効果倍増です。
- ③体や心を動かす。…散歩に出かけ、空や風、草木に季節を感じてみましょう。
- ④吸いたくなったら、まず場所を移動する。
- ⑤歯を磨く。
- ⑥野菜をたくさん食べる。
- ⑦お酒の席や煙の多い場所には近づかない。

(4) 縁を結んでやめましょう

職場や家族で協力をお願いしたり、禁煙仲間を見つけて味方を増やしましょう。また、身近な先輩に体験談を聞かせてもらったり、市の「禁煙教室」やインターネットの「禁煙マラソン」を利用するのもよいでしょう。

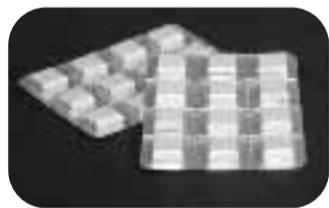
(5) 失敗は成功のもと

はじめから成功する人は10人に1人。3か月や1年経ても戻ってしまう人も多いようです。ニコチンはかなりしつこいと心得て、どこまで記録を伸ばせるか、禁煙している時間を少しずつ積み重ねましょう。

禁煙は1度でもチャレンジすれば、それだけ進歩していると自信を持って何度でも挑戦しましょう。

ニコチン代替療法

禁煙を始めると、体からニコチンが抜けてくるため、イライラなどの禁断症状が出てきます。この症状を和らげるために、薬から微量のニコチンを補充する方法がニコチン代替療法です。



ニコチンガム

代表的なものには、ニコチンガムとニコチンパッチがあります。ニコチンガムは薬局で購入できますが、ニコチンパッチには医師の処方が必要です。

これらは、うまく利用すると、禁煙のスタートが楽になり、成功率も高くなると言われています。



お問い合わせ 健康管理課(内線333、338、339、357)



BOOKS INFORMATION
新着図書のご案内

PICK UP

【児童図書】



はしれ!ウリくん

きむらゆういち作/せべまさゆき絵
金の星社

森のかけっこ大会に出場したいのししのウリくんは、夢中になって走りすぎ、コースをはずれてしまいました。でも途中でけがをしたうさぎちゃんと一緒にゴールイン。

一般図書

- インターネットで文献探索(2003年版)
伊藤民雄著 実践女子大学図書館編集 日本図書館協会
- 京都の値段(その2) 柏井寿文 プレジデント社
- 結婚・離婚・親と子の知識とQ&A
菊本治男著 法学書院
- 構造改革と日本経済 吉川洋著 岩波書店
- 実践ビジネス・コーチング 田近秀敏著 PHP研究所
- 路面電車の技術と歩み 吉川文夫著 グランプリ出版
- 茶碗の見方・求め方
堀内宗心/黒田和哉指導 世界文化社
- 千年の黙 森谷明子著 東京創元社
- 二度目のノーサイド 堂場瞬一著 小学館
- 真昼の星空 米原万里著 中央公論新社
- 植木鉢の土 水上勉著 小学館
- 鹿鼎記2(天地会の風雲児) 金庸著 徳間書店

児童図書

- 星空図鑑 藤井旭写真/文 ポプラ社
- 市場がわかる絵事典 桑原利夫監修 PHP研究所
- 海神の姫 岡本敏子文 塩澤文男絵/原案 佼成出版社
- ゆかり先生のやさしい囲碁(初級編)
梅沢由香里監修 主婦と生活社
- いつかもどる日のために 池田浩子著 鳥影社
- はちみつのタネ 尾山理津子作 ポプラ社
- ゆうちゃんのたまご屋 斉藤静子著 けやき書房
- ぼくのミラクルねこネグロ
オスバルド・ソリアーノ作 アリス館
- ひろったらっぱ
新美南吉作 葉祥明絵 につけん教育出版社
- おしゃぶりがおまもり
ウーリー・オルレブ文 ジャッキー・グライヒ絵 講談社
- すずのへいたい
H.C.アンゼルス作 竹下文子文 西巻茅子絵 岩崎書店
- きみの町に星をみているねこはいないかい?
えびなみつる作 架空社

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181

景観にみるむこうしの歴史

～森本区の誕生～

森本区の誕生130周年を記念する式典が、この11月23日に執り行われます。他の地区や、最近になってから森本町内にお住まいの方のなかには、何のことかと思われる方もあるかもしれません。



西土川

白井

昭和11年の白井(左下)と西土川(右上)の集落

森本の名が、現在のよう地区全体を表す名前になったのは、明治7年(1874)4月に、白井村と西土川村が合併して森本村になってからのことです。それまでの森本は、森本町下森本付近にあった小字の名前にすぎませんでした。向日市内の他の地

区は、江戸時代の町村の枠組みが、ほぼそのままの形で現代に受け継がれており、明治以降の合併によってできたのは森本だけです。

昭和11年(1936)の地形図を見ると、段丘上に立地する鶏冠井集落のすぐ北側に接して白井の集落、そこから北東へ一段下がった沖積低地に西土川の集落、というように地区内に2つの集落があったことが一目瞭然です。江戸時代の石高は、白井村が300石、西土川村は390石余りで、両村内には金林寺と泉福寺という浄土宗寺院がそれぞれありました。

両村とも向日神社の氏子でしたが、白井村には「白井四天神」といわれる、集落を囲む4カ所に天神を祭る小祠があり、その伝統は現在も地元の方々が祭る北浦天満宮に続いています。西土川村には、今は操車場の線路の下になっている場所に春日社があり、鎮守として祭られていました。春日社は明治11年

(1878)に向日神社に合祠され、その境内に移転しましたが、現在でも泉福寺境内に小祠があります。

白井と西土川は、このようにそれぞれ独立した村でしたが、実は江戸時代には、2つの村の間に村境はありませんでした。集落は別々ながらも、その耕地は現在の森本地区全体に入り混じってありました。少し変だと思われるかもしれませんが、江戸時代以前の荘園の時代には、村とは集落を意味し、耕地はまとまっていなかったのが当たり前でした。

豊臣秀吉の時代から江戸初期にかけて、「村切り」といって、村の境界が決められていきます。ところが白井と西土川の間では、なぜか村切りが行われず、以前のまま残されたのです。近くでは長岡京市内の神足と古市も、同じような関係でした。白井と西土川の2つの村は、もともと他とは違う近い間柄にあり、明治7年の合併もそのことが背景にあったようです。